

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		図書館まつり実施事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会	課長名 西川 正則
	施策	20	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名 坂本 好幸
	基本事業	68	学習やスポーツへの参加機会の提供		所属班	図書館班	(内線) 1540
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	図書館法第3条(図書館奉仕)、合志市立図書館条例第5条
	1	10	5	8	10810・10811		成果優先度評価結果 : 1 コスト削減優先度評価結果 : 12
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H16 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	図書館利用促進を目的に平成8年旧両町の時から実施されている。合併前は合志館は「ヴィーブルフェスタ」の一環として実施していたが、合併後、西合志館で平成18年10月22日に開催、合志館は「合志市文化フェスティバル」の一環として実施した。平成19年度からは市立図書館として合志市文化フェスティバルの一環として11月に実施した。参加者は、年々増加の一途にある。また、合併により市立小中学校の児童生徒に対する読書感想文等の募集が広範囲になり、優秀作品の選定作業時間が多く必要になってきた。
【業務の流れ】	『西合志図書館』: 図書館まつりのチラシポスター製作①関係者への連絡・会場設営・リサイクル本の処理・上映会用作品の選定及び資料入手・会場設営 『合志図書館』: 図書館まつりのチラシポスター製作・合志市立小・中学校へのチラシ配布や広報等による作品の募集・選定・表彰式・記念品購入・入選作品の掲示・作品集編集・会場設営・講師依頼・関係本の朗読及び講師の補助・関係者への連絡・リサイクル本の準備及び処理・クイズ作製・景品準備
【主な予算費目】	報酬(非常勤職員の手当)・報償費(講師謝金・副賞品代)・需用費(材料購入・作品集印刷)使用料及び賃借料(映写会フィルム代)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	リサイクル本の配布を最初から無制限にしてあると先に大量に持っていかれ、あとから来た人が受けることができない。最初に混雑してしまう、いらない本までついでに持って行く、対応する人員不足、市の財産としてどう考えるか、公平さ、広く市民に還元する、また図書館まつりを西合志館と合志館で分かれて実施するのは利用者が分散してしまう。合志市立図書館としてどのような方向性でいっか今後やり方などを検討する必要がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 半環(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
・西合志図書館(講演会・おはなし会・本のリサイクル・体験コーナー・スタンブラー・太陽観察会・移動図書館車公開) ・合志図書館(作品募集及び表彰式・本のリサイクル・懐かしい昭和の遊び・自転車の紙芝居屋さん・図書館クイズ・布絵本の展示説明会)	・22年度は文化フェスティバルと市民まつりを同日実施の予定であり「図書館まつり」の日程について検討を行っている。 ・イベントについては、21年度の反省と検討を行い若干の変更がある。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
⇒ ア 事業開催回数 回	⇒ イ 事業開催日数 日
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
市民	⇒ ア 人口 人
	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
読書活動の推進を図る。	⇒ ア 事業参加者数(延べ) 人
	⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
・事業の成果として参加者を設定するのが適当である。 ・日程の変更が考えられるため若干低い設定にした。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 回		1	1	1	1	1	1	1
	イ 日		2	2	2	2	2	2	2
⑤ 対象指標	ア 人		53951	54515	55,100	54856	55800	55800	
	イ								
⑥ 成果指標	ア 人		3574	4422	4,450	4034	3700	4500	
	イ								
投資 入 量	国庫支出金	千円		2					
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	325	194	238	186	239	238	
	(A) 事業費計	千円	325	196	238	186	239	238	0
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件 費	正規職員従事人数	人	6	7	6	6	6	6	
	延べ業務時間	時間	140	140	140	950	140	140	
	(B)人件費計	千円	556	560	557	3,781	557	557	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	881	756	795	3,967	796	795	0	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0

事務事業名	図書館まつり実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷ 来館者は昨年同様多かったが、「体験コーナー」等はイベントの性質により収容人数が少なかったため達成できなかった。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷ 日程変更の可能性があり、周知を徹底する必要があるが、若干低めの目標をたてている。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 『合志市文化フェスティバル』の一環として実施している『合志図書館まつり』と『西合志図書館まつり』を統合し、広報費用の節減と準備の効率化を図る。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 読書感想文等の作品募集について、各小・中学校で事前審査を行なっていただき、点数を制限したことにより、参加賞代を削減できた。図書館職員が手作りのブラックパネルシアターを上演することにより、講師料の削減ができた。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 図書館法により無料の原則に則って運営している。
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>参加人数は昨年より少なかったが、各々のイベントは好評であった。</p>
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>今年度もより幅広い世代に向けたイベントを考え、より多くの利用者に参加頂けるよう努力する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>通常の貸出等の業務を行いながらイベントを行うため、イベントに割当てる人員は限定される。ボランティア等の協力を得ながら、まつりを実施できないか検討する必要がある。</p>																						